

児童生徒支援のための『ワンポイント・アドバイス』



学級づくり 12 箇月

平成 26 年 3 月号
京都府丹後教育局

～新年度のスタートに向けて

Tel : 0772-22-2175 Fax : 0772-22-0479
HP : <http://www.kyoto-be.ne.jp/tango-k/>

この便りは、平成 24 年度丹後特別支援教育研究会研究グループⅡの協力を得て作成しております。

～今年度の取組を、来年度の学校・担任へ引き継ぐ～

「新年度の支援のスタートは…今3月から！」

3月は各園・校でも次のステージへの引き継ぎの準備が行われる時期です。子どもを育てていくためには、保護者と教師の綿密な連絡や協力関係が必要です。小学校に入学したばかりの1年生が集団行動がとれない、授業中に座ってられない、話を聞かないなどの「小一プロブレム」や小学校から中学校に進学したときに学習内容や生活リズムの変化になじむことのできないなどの「中一ギャップ」を防ぐために何ができるでしょうか。

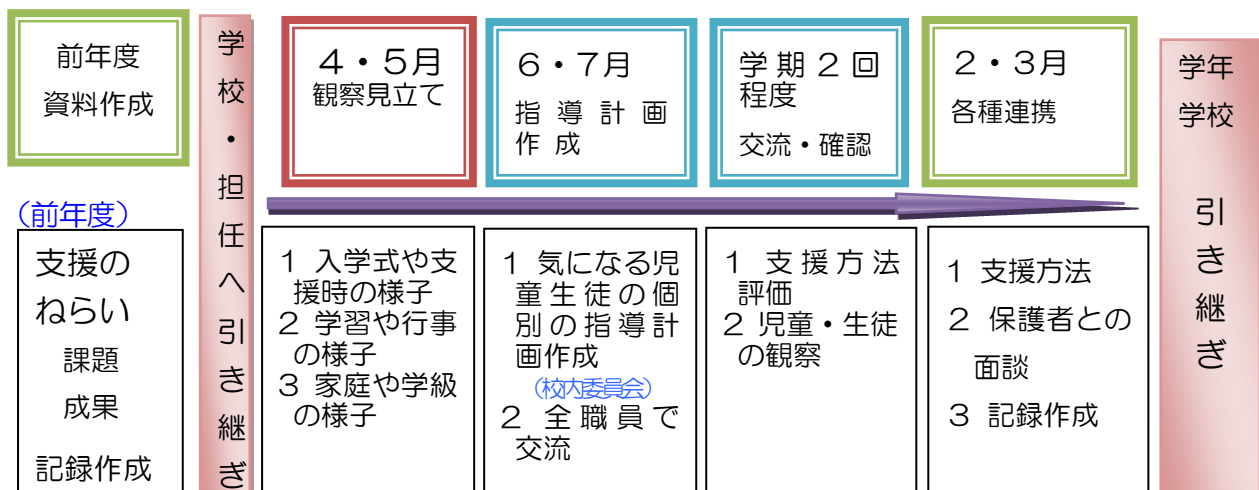
この背景には様々な要因がありますが、ひとつに大きな環境の変化があります。子どもたちにとって新しい節目である進級や進学は、心や行動を大きく揺さぶり、変化させます。この時期の新しい人との出会い方やかわり方は、子どもたちにとって不安に感じるが増える時期になります。そういった子どもたちが、新しい環境の中で自分の持ち味を発揮するためには、保護者や教員と一緒に身に付けてきた行動のルールや対人関係のスキル、得意なことや不得意なことなどを、これからかわる人たちに理解してもらう必要があります。最初のかかわり方が、子どもが自己肯定感を持って生きていけるかどうか大きく影響することもあります。今行っている支援の情報を次の機関へどのように伝えていくかが重要になります。本人が力を発揮しやすい環境や言葉かけ、学校で得たスキルを、丁寧に伝えることが大切です。

また生涯にわたる一貫した支援のために、「相談支援ファイル」の活用も始まっています。この「相談支援ファイル」には乳幼児期から成人期に至るまで適切な支援を継続して受けるための大切な資料（日々の子どもの様子やそのとき行った支援の方法等）を綴り込むことができます。平成 23 年度から丹後圏域版支援ファイルを作成し、それぞれの市町で運用が開始となっています。これによるさらなる支援の継続が望まれるところで

引き継ぎまでの年間見通し

1 年間の流れ (例)

【校内委員会や担任の活動】



移行支援シートは個別の指導計画や個別の教育支援計画などをもとに、必要な情報を、入学当初の引き継ぎ事項に焦点化してコンパクトにまとめたシートです。

引き継ぐ資料を作成する時のポイント (会話や行動の場面を具体的なエピソードとして記入する)

- ① できること、得意なこと、好きなこと
- ② 伸びたこと、努力していること
- ③ 困っていること、できないこと、避けること、不得意なこと、嫌いなこと
- ④ 意欲向上につながる教材や教具の具体的な名前や内容、活用方法
- ⑤ 落ち着いて聞ける言葉かけや環境 (視覚・聴覚・場所等)
- ⑥ 不安定になったときの対処の方法
- ⑦ 具体的な学習・班の活動・委員会・クラブ・部活動等のエピソード

発達障害の有無に関わらず、就学・進学するにあたって、園や保育所、小中高等学校及び、その他の専門機関等で受けた支援や配慮が確実に引き継がれることが大切です。引き継ぐ資料は子どもたちが、次の学校機関へスムーズに適応できるように役立てることができます。



どの子ども「わかる」「できる」「楽しい」生き生きとした学級づくりの提案!

「児童生徒支援のための『ワンポイント・アドバイス』」を今年度7回発行し、子どもを見る視点や支援の方法・環境を具体的に連載してきました。ワンポイント・アドバイスでお伝えした「時期に応じた支援」「知っておくと役に立つ支援の在り方」は次年度もぜひご活用下さい。丹後教育局のホームページに全てのニュースをアップしています。

平成25年度発行の『ワンポイント・アドバイス』テーマ一覧

